

東北支部の紹介

東北支部は、東北 6 県（青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県）の日本土壌肥料学会会員で構成されています。支部会員が所属する組織は、大学、独立行政法人や各県の公設研究機関、農協、民間企業など多岐にわたっています。

東北地域は、都道府県別の食料自給率が各県とも全国 10 位以内に入る、わが国における重要な食糧生産基地となっています。良食味米による水稻栽培のほか、畑作、リンゴ、オウトウ、モモといった果樹栽培も盛んで、多様な気象条件や土壌条件などの地域特性に対応した農産物の栽培技術が発展しています。

東北支部では、各県の持ち回りで開催される年 1 回の東北支部会にて活動の最新の成果が発表され、例年 20 課題ほどの口頭発表があります。支部会の翌日には独立行政法人、農業試験場、全農、民間メーカーによる東北土壌肥料協議会に参加し、農業試験場関係者や技術者、大学関係者との意見交換や現地見学会を通して相互の親睦を深めています。近年、環境に配慮した農業が重要視される中で、東北支部会は、環境への負荷を低減しながら生産性を確保する持続的農業や安全な農産物の生産技術など、研究者や農業技術者ばかりでなく、生産者や消費者を意識した食料生産の発展に貢献していく所存です。



大区画水田



転換畑ダイズ



リンゴ ふじ



オウトウ 佐藤錦



直播水稻



土壌断面（灰色低地土）